

わかば

ワカバ会

54 号

東京都立三田高等学校
同 窓 会
社団法人 ワカバ会

〒108-0073 港区三田1-4-46
電話 (03)3451-0227
FAX (03)3452-4590
E-mail :
t-mita@wakaba-kai.org
http :
//www.wakaba-kai.org/

時間
午前10時～午後4時
休日
土曜・日曜・祝祭日



切り絵 「彼岸花」 三谷恵子 (渡辺) (30-1)

目次

会長あいさつ	2	これからワカバ会行事	10
校長あいさつ	2	情報ひろば	11
支部連絡先	2	総会報告	13
先生方の近況	3	理事会報告	13
特集 第六通信	4	決算・予算	14
私の近況	6	委員会報告	14
学校だより	7	追悼	15
0日会連絡先	7	事務局だより	16
ワカバの輪	8	編集後記	16
ワカバ会行事に参加して	10		

ホームカミングデーの皆様、ぜひ総会へ！

来年度総会のホームカミングデーにあたるのは、昭和9年（第六7回生）、昭和19年（第六17回生）、昭和29年（6回生）昭和39年（16回生）、昭和49年（26回生）、昭和59年（36回生）、平成6年（46回生）の各3月に卒業された方々です。

会員の皆様へ

ワカバ会会長 小野 紘一 (8-3)



長い間に亘り、会員の皆様に愛され、利用していただいたワカバ会の榎井沢山荘については、

これまでに報告をして参りましたとおり、今年の夏を以って取り敢えず一時閉鎖をいたします。

大変に残念なことですが、利用者数の減少傾向が一向に改善されないため、にやむを得ない措置でございます。

しかしながら、新たに三田高校の校長に就任された揚村洋一郎先生から、山荘を閉鎖することについてはとても残念なことであるので、母校の行事の一環として在校生やPTAの皆様の積極的な利用を図りたいとの申入れを頂いております。

ワカバ会としても会員の諸兄姉により建てられた貴重な施設でありますから、今後、利用者が回復し、その維持管理について目的がつくようであれば、是非とも山荘を再開いたしたいと考えております。

母校が創立八〇周年を迎え揚村新校長先生としても母校の発展に多大の意

欲を燃やしておられます。

ワカバ会も同窓会として、このような学校運営に積極的に連携し、母校の発展に一層協力して参りたいと思っております。

会員の皆様の更なるご協力を期待する次第です。

三田の復権を願って

ワカバ会名誉会長 三田 高校 校長 揚村 洋一郎



本校校長として赴任してまいりました揚村です。これから、ワカバ会の皆様と会の発展のため親しく勉強し、ともに努力してまいりたいと存じます。これまでの各校長ならびに諸先生方のご努力や功績に対し感謝いたすとともに、今後も微力ながら私の一身をささげて、本校発展のために全力で多くの課題に取り組む所存です。

東京都は高校改革推進計画の中で学校経営の改革を基本方針としています。それは、同窓会を始め保護者・PTA等の教育参加にあります。私は、学校は生徒が主人公であり、それを導き援助する教員、教育に側面から支援、援助して頂く同窓会・PTAの方々の緊

密な連携があつてこそ発展していくものと確信します。

4月に着任早々学校経営計画を出させて頂きました。柱としては、①進学対策重視、②クラブ・行事の充実、③自主・自律に基づく行動力の育成、④国際理解教育の推進です。とくに、都立高校の復権を目指して、国公立大学や私立大学難関校へ挑戦する進学対策を推進します。そのためには、隣の日比谷・小山台に負けない学力を生徒に身につけさせるため、今年度、土曜補習・補講、夏期講習、サテライト補講の導入、さらに、慶応大学との高大連携事業などに着手しております。また、入学選抜において5名の特別推薦制度を取り入れます。教職員も一丸となつて生徒の進路実現にむけ努力していきます。

かつての名門三田の復権を願って少しづつですが鋭意努力してまいります。ワカバ会会員の皆様のご支援よろしくお願いいたします。



支部連絡先

札幌	32-6	伊藤 早苗	〒063-0811	札幌市西区琴似一条2丁目5-3-403	011-644-4418
東北	7-ウ	寺嶋 辰代	〒981-0411	宮城県桃生郡鳴瀬町野蒜字北赤崎32-7	0225-88-2028
さいたま	18修才	中村 泰子	〒336-0014	さいたま市前地3-5-12	048-885-7476
千葉	17-6	進藤英津子	〒261-0012	千葉市美浜区磯辺6-6-10-304	043-277-3469
湘南	20-ア	大久保千英子	〒248-0035	鎌倉市西鎌倉2-18-19	0467-32-5635
静岡	5-2	稲葉和寿子	〒422-8071	静岡市豊原町2-13	054-285-6573
東海	2-2	神野能生子	〒440-0806	豊橋市八町通4-48	0532-53-3261
関西	16-ア	松井 好	〒631-0804	奈良市神功5-9-24	0742-71-8226
京都	5-オ	山田 啓子	〒617-0824	長岡京市天神4-6-15	075-951-1477
福岡	7-3	爲数 俊子	〒818-0101	太宰府市観世音寺6-16-16	092-923-0849
大分	4-4	山下 延子	〒870-0826	大分市城南西町2A-27-2712	097-543-4233

先生方の近況

(敬称略・順不同)

校長 森山 晴美

十五年二月、「森山晴美歌集」(現代短歌文庫・砂子屋書房)を出しました。元気でおります。

教頭 井上 清志

都公立高校定年退職後、私学で週三日または四日で十年間、数学を教えてきました。どこも、今年の三月に七十歳定年ということで辞めて、第三の人生に入りました。

保体 新 一郎

「健康」の有難さでしょうか。

(その一) 年齢を意識せずに月日が過ぎて行きます。

(その二) 二ヶ月先まで手帳の予定表が真黒で、それが、ずれて行く一年間の繰返しです。

国語 大河原静江

相変わらず膝関節痛で不便なのであります。そのため行動範囲が狭くなりました。でも水中歩行には参りますし目標をもって過ごして居りました。

理科 奥田 務

この四月から静岡県立伊東高校で四日間教えることになり、まだ慣れないため、あわただしい毎日です。その他、静岡点字図書館の音訳(録音図書製作)ボランティアをしており、土日が貴重な休日です。

事務 佐野 寛一

三年程前から、独学で、俳句、川柳の勉強をはじめました。

老二牛乳手にす花野かな

(サンデー毎日 十四年九月八日号掲載)

古希を過ぎ躍いた石懐かしみ

(山梨日々新聞 十五年四月二日掲載)

理科 下河原五郎

三年前に完全にリタイアをしました。現在は、ボランティア的な仕事や趣味の会などで楽しく元気にしています。

数学 寺尾 光史

一九九八年四月に心臓のバイパス手術をしました。経過も良く元気にしています。外出が楽しみですが疲れま。これも年かな。

嘱託 中居 信義

千葉県の施設でパソコン操作のサポーターをしています。求職者を対象とした無料IT講習の自学自習講座です。一年ごとの契約で、二年目になります。

数学 長江 典子

三田を去って十五年になります。最近、どつぱり主婦しています。「先生」と呼ばれていた頃がとても懐かしいです。

英語 西村 幸三

東京成徳短大を七十歳で辞して二年になります。かつての同僚、教え子達と顔を合わせ、若い頃をなつかしがたり、近況を話したり、なんとか元気にしております。

数学 萩野 公

三田高につとめさせていたいただいてから十六年になります。今は主人と二人です。こし、私は家事をしたり、旅行をしたり、読書をしたりしてお蔭様で健康にすごしています。早朝の毎日一万歩歩きもしています。

英語 増田 茂

現在七十二歳。長年勤めた東洋女子短大を退職して第二の人生に入ったところ。です。

保体 三浦 初枝

もう三十年も前になります。三田高校で保健体育科の教員として奉職させていただきました。現在は、愛知県の豊田市にある真宗大谷派の私学の高校に専任教員として勤務させていただいております。親鸞聖人のみ教えのもと

に、人間教育に力を入れている学校です。校訓は「命尊し」です。山や緑に囲まれ、東京タワーを間近にしている三田高校とは、全く環境が違います。

講師 三戸ミドリ

三田で教えていらしたキャッツ先生と、月一回の「アメリカ文学を読む会」でおしゃべりを楽しんでいます。

保体 森本 素子

長女が四月から幼稚園に入り、五月には第二子出産予定です。体力には自信がりましたが、さすがに少し疲れ気味です。

英語 山本 悦子

山形にうつり七年目になり大分なれて、まわりの方々と親しくしていただけるようになったと感じております。

理科 横田 憲治

私立高校の非常勤講師をしています。秩父に天体観測所をつくりまして、週末は観たり撮ったりしています。

保体 和田 米郎

ボランティアの毎日を過しています。おもちゃ修理、高齢者ホームの庭園整備、等々です。

総会の出欠はがきより転載させていただきます。

特集

第六通信

ふりかえれば

21イ 國枝 佳子(深井)

第六は、小さい時からの思い出多い学校でした。満州国歌を聞いた神宮外苑の運動会や、プールの前の体育館での宝つり、姉に連れられて泳いだ室内プール、野口徳先生のクラスにも入って。11回卒のいここに始まって、二人の姉と私。長姉と私の長女が、三田校生となる、などなど。

さて私の第六時代、好きになれなかった国民服、二年の頃戦時色濃く、英語を続けられたのは一組だけ、初めての組替に、もの悲しさを感じた。やがて岡田乾電池などへ学徒動員と



六本木ヒルズのホテルレストランにて筆者の先輩の先生たち

して一年の間の学校を離れた。それがあの八月の暑い日、工場の中庭で天皇の玉音に接し、私達は又し

ても、宙に浮いてしまった。

その秋四年二期、校舎に戻る事が出来た。ふりかえれば勉学は少なかつたが、大勢の友人を持つ事が出来た。

今思うと

22イ 新島 昌子(森田)

昭和十八年に入学し二十三年に卒業した私は、はからずも第六高女のしんがりとなつてしまった。すでに丸山校長は辞めておられ、世は戦争一色となつていたが、それでも他校のようにズボンにゲートル姿にはならなかったのは自由な校風のおかげと今、思う。良妻賢母を掲げる女学校の多かった中で、室内プール、毎日ある体育、毎月の遠足、農園。みなユニークだった。姿勢よく堂々と歩く上級生達を誇らしく思ったものだ。しかし二年になる頃上級生は次ぎ次ぎに動員され、私は十二月から池貝鉄工所で働くことになった。敗戦は三年生の夏、焼野原の東京で第六高女は残っていた。その講堂で情熱的にピアノをひいて下さった数学の高城先生。第六の卒業生で米国帰りの英語の鞍馬先生。五年間級かえなしの同級生。細かい規則などのないのびやかさは貴重だった。

今回は二十一回から二十回卒の方にお願ひしました。

理想を求めて

22ウ 水野 幸子(牛尾)



誕生会の88歳の方へ花束を渡す筆者

昭和二十年八月十五日、終戦をむかえ勤労動員から学び舎の第六高女へもどつたのは、三年生の時でした。私はこれからは目標をもつて勉強し、将来の進むべき道を考えなければいけないと、日々思う毎日でした。家が開業医で母は薬専出身で、医学生の子からは母と同じ薬専進学をすすめられました。

私の夢は英文科進学で、鞍馬先生の英語の授業がたのしく、補習も受けました。化学の小此木先生も充実した授業で、担任の篠崎先生の友情と真実の言葉に感激し、よい友人にも恵まれました。自宅に下宿し、数学を教えて下さった東大生からは、反省することの大切さを学びました。英文科に入学し教養のある家庭的な女性になることを、理想としてよい学生生活を送りました。名門の第六高女で得た数々の思い出を今も心に刻み、働く毎日です。

第六に支えられて

22エ 村上 光子(加門)

第六を想うと校門の泰山木、白い大きな花、濃厚な薫りを。入学は大戦中、学徒動員で沖電気、高砂ゴムで敗戦、厳しい戦後と激動の五年間。その間、若宮先生や諸先生に守られ導かれ、しつかり第六の教育を受け卒業しました。小学校教諭を勤め、退職。その生活で越えて来た事々が想い出されます。子らを別々に預ける方法に窮した時、背中を押される様に夏休みに免許を取り、支障なく二期を迎えられました。二男の交通事故は、完治に八年間要しましたが、死は頭を過ぎりませんでした。私の腰痛と母の死が重なり、医師に「納骨後は遅い、治らない。」と。自力でと方法を尽して殆ど治癒できました。



22-エの皆さん

た。常に前向き100%で生きるを信条に、毎日を迎えたいと思います。

私の中の第六

23-1 近藤 郁子(深川)

戦後も落着き、私は伝統ある第六高女に転入学いたしました。当時、クラスのお友達は皆、賢そうで暫く緊張の連続でした。失われた勉学の時を取り戻すべく、各授業は活気に満ちていました。人前での研究発表は、とても良い経験でした。担任でもあった水上先生の英語授業は進んでいて、前ぶれもなく行われたディクテーションのテスト等は、全然出来ず劣等生そのものでした。しかし、初めて出会った英詩「ワズワースの「水仙」の美しさの虜になり、一心に暗記し、英国に憧れ続け訪れることが出来た今でも英国は一



「日本画と書の二人展」にて
左から二人目が筆者

れがちな体育重視の教育は、実に素晴らしなものだったと思います。私は、そのような第六の卒業生であることを、とても誇りに思っています。



新装の世界有識ス
ポーツ人の殿堂の前
の筆者夫妻

番好きな国となりました。優秀で個性的な、中山さん、峯崎さん、チャームングな坂根さん、久保田さん達との楽しい思い出と共に社会に出てからも第六の卒業生として今に至るまで、私の中で常に誇りに思っております。

第六に学んで

23-5 松平 俊江(山田)

私が府立第六高女に入学したのは昭和十九年四月、卒業したのが昭和二十四年三月、その間に東京府が都にかわり都立第六高女の最後でした。

五年間の在学中に戦争と終戦を体験し、正に激動の女学校生活でした。従って、丸山校長のユニークな教育には直接ふれることはありませんでしたが、先生や先輩、上級生方から、丸山校長のお話はたつぷり聞かれました。後年になってあたたかも私自身が体験したような嬉しい錯覚を憶えたものでした。知徳体の中で、ともすれば忘れがちな体育重視の教育は、実に素晴らしなものだったと思います。

ます。

実は、先年、夫が世界有識スポーツ人の殿堂(米国ロードアイランド州)入りしたそのセレモニーで、殿堂入り第一号である、かの有名なギリシャの哲学者プラトンが「人間は人間である以前に先ず動物である。従って体を鍛えることが何よりも大切。哲学はその次」と二千年前に説いたことを聞いて、改めて丸山校長の偉大さを感じたものです。



SWEET MEMORIES ~オセンチ山 No.2~

オセンチ山から

旧職員 元木 光雄

オセンチ山といえば、一色違った桜の木が眼に浮かぶ。校庭からは山のように見えるが、実は山の手の台地の端が、こちらへ突き出たようなものである。山に登って、お隣の赤羽小学校をのぞくと、塀の脇に小さな碑が建っている。猫塚である。猫塚のことは、永井荷風の「日和下駄」にもみえる。このあたり一帯は、昔、九州久留米の大名、猫騒動で有名な有馬家の上屋敷のあった所である。有馬家では国元から安徳天皇を祀った水天宮を迎えており、また立派な火の見櫓を建てていた。水天宮は、今の場所に移って、火の見櫓とともに今はない。しかし広重の錦絵に、川に沿った有馬家

の屋敷と水天宮の幟や火の見櫓がその後ろに見えるのがあり、「三田高校40年の歩み」に載せてある。昔、高いもののある所には、怪異が起きるといふ噂があり、そこから猫騒動の話が生まれたものであろう。荷風の見た猫塚は今の赤羽小学校の猫塚ではなさそうで、猫騒動に結びつくものではないかもしれない。

三田高校のある辺りは池であって、旧校舎が低湿であったのは、その池を埋め立てた場所であったからであろうか。旧校舎の正門を入った右手の門衛所の脇に「さし石」とて、持ち上げて力比べをした石がいくつかあった。改築の時失われてしまったようだが、これも有馬さん時代のものかもしれない。それにしても、オセンチ山に登って、オセンチになる女子の生徒が、今も居るのだろうか。

私の近況

此の頃思うこと

5-6 堀井 隆子(山賀)



三十歳近くで縁あって東京より静岡県に嫁し、二児も成人しまして、袋井から浜松に転居して二十二年で、一信徒として、目下教会関係の仕事をしていただけて居ります。多様な人間関係の中にあつて過去の経験が随分と役に立っていると思います。百田校長先生の御紹介で高輪の光輪閣に七年勤めその後、帽子のデザイナーの職を身につけたのですが、先行の不安もあつて結婚し、浜松に転居してからは、画家の志望が若い頃からの夢でもありましたので、主人のゆるしを得て、市展出品から始まって地方をクリアーし、光風会の工芸部門にパネルロー染で入選する事が出来ました。その後病気になる、創作的な事が出来なくなりまして、浜

今回は高校の卒業回数末尾5の方に原稿をお願いいたしました。

松に来てから行き出した近くの教会での奉仕で私の賜物を生かしながら、他者のために働けたらと思っています。

退職し今思うこと

15-5 中島 彌生(諏訪部)

三田高校を卒業して四十年がたちました。心理学を学び、何もわからないまま就職し、ずっと臨床心理の仕事に携わってきました。二十二年間は児童相談所で子どもをめぐる様々な相談に出会いました。対象者と一緒に悩み、苦しむ学ぶことの多い職場でした。その後大人が対象の場に移り、身体障害の方の心が少しでも楽になるように関わったり、障害のある方が就労に至る道筋に寄り添ったりということを、十年余経験しました。少し早めに退職し、四年目になります。現在は週一回程度臨床心理の仕事が続けております。この仕事は自分の生き方を問われるためきびしい面もありますが、たくさんの方に残る出会いをいただきました。これから仕事を続けることを支えてくれた母と楽しく過しながら、新たな挑戦が出来ればと思っております。

皆様、お元気ですか？

25-6 大澤 勲(上倉)

早いもので卒業して三十年が経ちました。現在、私は、埼玉県深谷市で診療所(内科、小児科、神経内科)を開設しています。医学部在学中、脳に興味を覚え、神経内科を専攻しました。最近、外来での診察の他、訪問診療の機会が増えています。介護保険の導入もあり、自宅で病氣と闘う患者さんが増えているためもあると思います。

脳梗塞、パーキンソン病、アルツハイマー病など、神経内科が関わっている病氣の方が多く、訪問診療のため、昼休みがほとんど取れない状況です。患者さんと接する時間を多く確保し、効率の良い診療を目指すため、以前より電子カルテを使用しています。また、レントゲン検査もデジタル化し、フィルムは使用していません。医療廃棄物を減らすことに役立っています。

小回りの効く開業医として、今後も頑張りたいと思います。また、同窓会等で皆様とお会いできる日を楽しみにしています。

E-mail: iosawa@mac.com

すべて遅咲き？

35-3 岡本 厚子(矢田堀)

十年半のOL生活を終えて、三三歳か



ら、フリーで映像メディアの字幕や吹替翻訳の仕事始めて六年になります。現在、主にいたたく仕事は、ディスカバーチャンネルや、映画のDVDに収録される特典映像や音声解説の字幕翻訳です。動物モノから科学、犯罪モノまで、分野が多岐にわたるドキュメンタリー番組は、毎回調べ物に四苦八苦。映画関係の翻訳も業界用語が満載で、ネイティブに聞いても分からないこともしばしば。高校時代、英語は2を頂戴したこともある上、短大は国文専攻という私は日々苦勞の連続です。それでも最近は楽しさが上回り、さあこれから、と思った矢先、なんと妊娠が発覚。仕事第一の生活に、人生の大仕事が無い込みました。高校時代は吹奏楽部、現在は千代田フィルという市民オーケストラでトランペットを続けてきた私ですが、楽器も仕事も今年いっぱいでしたんお預けです。

学校だより

耐震工事

教頭 湯澤 賢兒

今年の夏季休業日から耐震工事が始まりました。事務室、職員室を含む教室棟の工事が、七月初から行われ、二学期直前に格技棟などの一部工事が残っていますが、うにか終わりました。来年は、特別室棟の工事予定で、今年度同様、夏季休業中に行われます。

工事のため、夏季休業中で、授業がないものの、様々な自由を強いられました。この期間、事務室や職員室は、音楽講堂に異動し、執務することになりました。音楽講堂を活動場所とする吹奏楽部、コーラス部、管弦楽部や工事のためテニスコートが使えないテニス部などの活動が大きく制約されました。また、教室が使えないため、夏季補習(毎年40以上の講座が開講)を実施するため、たいへん苦労しました。部活関係では、芝公園のグラウンドを借りたり、他校との練習試合や合同練習を多くするなどして活動を確保しました。また講習実施のために、三田の福祉会館を借り、さらに、隣の赤羽小学校の教室も借りることもでき、例年並みの講習を行うこともできました。部活動や、補習を行うにあたり、様々な困難な状況にありましたが、概ね例年並のことができたかと思っています。生徒がそんな状況を十分承知していて、各部や、クラスがそれぞれ知恵を出し合って何とか工夫をしていたこと、地域の協力があつたからこそ様々な活動ができたのだと思います。

田町で、日本語教師

45-6 田中 恵美



大学卒業後五年間会社勤めをした後、外国人に日本語を教える「日本語教師」という職業を知り、昨年専門学校に一年間通いました。今年「日本語教育能力検定試験」に無事合格し、七月より田町にある日本語学校の非常勤講師をしております。日本語学校の学生は韓国、中国などアジアの若者たちです。授業は原則として日本語だけを使います。楽しく、しかも実力がつく授業をすることはなかなか難しいです。毎回準備に四苦八苦しています。

学校はちょうど田町駅から三田高校に行く途中にあります。時折制服姿の三田高生を見かけることもあり、自分の高校時代を懐かしく思い出します。

この思い出深い、青春の地で働けることを大変嬉しく思っております。日々このご縁に感謝しつつ教壇に立っております。

双子

55-5 下荒地 瑛子・玲子

三田高校を卒業して、初めて二人別々の人生を歩んでいます。

私は、卒業してから何度か三田高校へ遊びに行きました。大学はつまらないわけではないけれど、まだまだ楽しいとは言えません。空き時間など敢えて一人になつてしまふ私の向かう先には、いつも三田高校があります。

まだまだ脱、三田が出来ずにいる、私の近況です。(瑛子)

新しい生活の始まりから早三カ月。忙しいけれど、充実した毎日だ。高校卒業後、何度か卒業文集を読んで気づかされたことがあった。それは、自分の交友範囲の狭さであった。双子だからと、何となく人より多くの人と知り合っていたような気がしていたが、実際は、そうでもなかったようだ。

大学は二人ばらばらだ。

卒業までに行けるだけ多くの人と知り合い、多くの考え

方を知っていききたい。(玲子)



OB会連絡先

(ワカバ会まで連絡いただければ、次回より掲載します)

部 名	代表者又は連絡係	卒業回数	〒	住 所	電話番号
アメフト	五十嵐 清	29-3	141-0021	品川区上大崎 1-5-10	3441-8384
三籠会(バスケ)	山田 一穂	8-3	270-2241	大室様方 アメフト部後援会気付	047-364-7514
ラグビー	内藤 宗夫	25-7	270-1359	松戸市松戸新田 443-25	0476-46-4195
バドミントン	高木 俊輔	48-3	361-0022	印西市木刈 2-29-3	
弓 道	石井 健一	42-8	144-0052	行田市桜町 1-24-1-103	3732-4960
管弦楽(室内楽)	甲斐 順也	44-8	105-0022	大田区蒲田 3-10-5-308	3456-8702
バレーボール	佐藤 大悟	47-2	144-0055	港区海岸 2-5-15-205	3733-1326
水 泳	井上 優子	51-3	144-0044	大田区仲六郷 1-24-9-601	5735-5280
卓 球	橋本 一夫	19-6	300-1266	大田区本羽田 1-29-15-401	0298-76-2101
フォークソング	和田 典也	33-4	108-0074	稲敷郡荏崎町自由が丘 430-12	5420-7650
				港区高輪 2-1-11-611	

三田高校第五回生同期会

5-6 大木安喜子(関本)

5-1 折原 松子(久保田)

桜散り皐月の青空が待たれる、十五年四月二十七日(日)東京全日空ホテルに於いて卒業五〇周年の同期会を開き



一三三名の方々が
お集まり下さいました。卒業後、クラス会を個々に開いてきましたがクラスを超えて集まりたいと珊瑚の会(三田の五回に因んで)を作り、隔年に食事会・山荘その他への旅行、シンガポール・ハワイへと愉しんでまいりました。

一九七六年母校の音楽講堂が出来たのを機に、第一回同期会を開き、お元気でした先生を含めて百五十名が参加、懐かしい思い出です。以来、五回目の同期会になります。皆同じに齢を重ねる社会での経験を重ね、かつて共に学び舎で過ごした青春の日々を、懐かしく想ったことでした。折しも六本木ヒルズオーブンというところで、散会後も「お楽しみ」のあった一日でした。

静岡支部だより

14-2 大石 汎子(渡辺)

平成十四年十一月十九日、静岡市内とは言え、紅葉の山道を送迎バスに揺られて数十分、『鈴桃(りんどう)』と言う名のリゾートホテルに到着しました。一回生の福山様から、初参加の荒穂子様(高16)まで総勢十六名。

発起人の福山様から発会当時のご苦勞話、大先輩の皆様からは、現役バリバリのご活躍のお話、又、親御様の介護や、ご自身の闘病の体験談等々、大変前向きで、有意義なお話を伺い、元気をいただきました。それに、心のこ



静岡支部の皆さん「鈴桃」にて

もった「晩秋会席」のおいしかったこと!! 元気印に花まるが付きしました。昭和三十四年の発会以来、回を重ねて参りましたこの素晴らしい集いを未永く発展させたいと願っております。未だ参加された事のない、県内在住の皆様!! 支部連絡先までぜひご一報下さいませ。ご一緒に楽しいひと時を過ごしませんか。

三田フィル演奏会に参加して

55-5 佐村 洋子

去る六月八日に三田フィルハーモニーオーケストラは第十二定期演奏会を開催致しました。今年は過去最多となる五〇〇名を越す多くのお客様にご来場頂くことができました。

当団では、プログラムの一部で現役の三田高校管弦楽部員と共演しています。私自身二年前には現役生として参加しておりましたが、年齢や社会的立場を異にする先輩方と三田フィルを通じて知り合い、音楽を通じて同じ感動を分かち合える喜びを感じたのは二年前も今年も同じでした。また、当団の演奏は決して技術的な水準が高いものではないかも知れませんが、音楽に対する気持ちの込め方はどの楽団にも引けを取りません。多くのお客様に恵まれている事がそれをよく表しているように思います。

より多くのお客様に演奏を聴いて楽しんで頂けるよう、更なるレベルアップを目指して活動していきます。



26 回生同期会

26-7 任都栗 新

今春五月二十四日の土曜日、三田通りに面した「中国飯店」を貸し切り、二十六期百数名が集まった。我々二十六期が集まったのは、卒業二十五周年の一九九九年以来の二回目。久しぶりに会う顔。よくこうした文章に出てくるように、白髪も目立ち、どこが悪いの、という話題は出るが、しばらくすると十六歳の高校生に戻り・・・。

やはり同期会はいいもので、昔の憧れの人にも会えるし、張り合っていた





(同期会の写真をHPで公開しています。
見て下さい)

<http://server1.yutakamusen.co.jp/mita26/>

頃の元気が出てくる。再会の約束は、来年のホームカミング。我々が学んだ校舎はすでにないが、オセンチ山にみんな登ろう。オセンチ山から見える体育館を眺めていたら、時計台とソテツの木、そしてツメ襟とジャンパースカートを着たみんなが笑っているのが見えてくるだろう。

もうすぐ卒業三十年。おじさんとおばさんになっちゃったけど、それはそれでお互いいい年を重ねてきている。そして高校生のときには見えなかったそれぞれの良さが新たに覚えてきている。高校生のときにはあまりしゃべらなかった人と、最近よく話している。これからも常に新しい友人でありつづけてよう、これから十年、二十年、三十年・・・と。

わか

同期会、クラス会、
OB会、支部会など、
同窓生のお集りなら
なんでも結構です。
楽しい原稿を是非お寄せ下さい。

宮城県北部地震の様子

7月 寺嶋 辰代 (明)

七月末に起きた、宮城県北部地震では、多くの方が被災されましたが、ワカバ会東北支部長の寺嶋辰代さんもその一人です。今回の震源地の鳴瀬町にお住まいの寺嶋さんは、地震直後の慌ただしい時期であったにもかかわらず、皆様の今後のご参考になればということで、寄稿してくださいました。一日も早い復興を、心よりお祈り申しあげます。

地震、雷、火事、親父という昔からの言葉があります、こわいものの代名詞です。地震と雷は自然現象で何日何時おこるか予想もつきません。常に気をつけていても毎日少しずつ平穏な日々慣れていて、起こるまでは何となく日を送っていました。

今度の宮城県北部地震は、五月二十六日夕方震度四の地震があったのがはじめです。その後二ヶ月は何事もなくすごしました。二ヶ月後七月二十六日午前〇時十三分どかんと大きな音がして地震が起きました。震度六弱、あま

り地震の音が大きかったので、家の中のものが倒れた音はきこえませんでした。大きな音と共に大きな揺れで、私は家がつぶれると思ったぐらいです。ふとんの中で丸くなってふるえておりました。やっと地震がおわり、家がつぶれなかった事でホッとしましたが本箱が二つと食器戸棚がひっくり返っているのにおどろきました。本は全部ほり出され、ガラス戸は全部こわれて手のつけようがありません。食器戸棚の中のもの、やはりこわれていました。夜中なのでそのままにして又休みましたが、とうていねむれません。

二十六日の午前七時十三分、またまた大きな音がして、地震。今度は震度六強でした。夜中の地震で倒れたのでもう倒れるものはありません。仏壇も倒れて花器の水が畳にしみていました。本当に驚きです。御近所の家では山がくずれ、大きな土のかたまりが家の中にとびこんで来ましたが、幸い誰もいなかったたので人に被害はありませんでした。

方々で家がつぶれ、二階が一階になった家もありました。屋根がわらがこわれた家は数えきれません。時がたつと共に、いろんな被害がわかり、私の家はつぶれなかったけれど、まわりの被害を思っ胸がいたみました。幸いな事は、死んだ人が一人もいなかった

事、けれど多くの人がけがをして病院にはこぼれ、本当にお気の毒です。けれど、みな命が助かったことで、胸をなでおろしています。

その後、毎日の余震が続く、体が揺れているようで精神的にまいっています。今日八月十六日も、時々揺れがあります。宮城県北部地震は、震源の深さが十キロ、マグニチュード五・五、五・七、震度六で震源地は鳴瀬町との事。私は震源地の真上にいる事になります。皆様からいろいろはげましの言葉頂き今無事でいることに安堵しております。

南郷町にカナダの学生さんがホームステイをしておりました。カナダには地震がないそうで、はじめて体験したそうです。日本は地震国。いっどこで大きな地震があるかわかりません。皆様もふだんから御気をつけて下さいませ。今日は人の身、明日は我が身という言葉が身にしみます。

今元気でいられることを感謝しながら書いております。



わかバ会行事に参加して

古都鎌倉の

新しい魅力を探る(3)

6-1 青山千世子(山中)
6-1 恵比沢鈴子(渡辺)



三月二十八日、北鎌倉駅集合、参加十五名。この駅が円覚寺の境内に建てられ、創建当時の姿を今に残している。と説明を受けて

その後、臨濟宗巨福山建長興国禅寺、鎌倉五山第一位建長寺へ向かう。外門・総門・三門(上層に五百羅漢を安置)ここで托鉢から戻られたばかりの大石様のご案内で、仏殿本尊の地藏菩薩を祀る、中は簡素。法堂は関東最大、十一面千手観音座像が祀られ、小泉淳作氏の竜の天井画も見事でした。ぼたんの植込の奥の禅堂は物音一つなく、合図は鳴り物のみ。法堂、禅堂は中村先生の設計で特別に拝観できました。境内の桜がチラホラ咲き出しています。

た。午後は、創立百周年を迎え新校舎竣工中の鎌倉女学院に伺い、校長先生から同校の歴史や、教育方針についてお話をいただきました。最後に、鎌倉彫資料館を見学しました。ご案内下さった中村先生、有り難うございました。

(平成十五年三月二十八日実施)

第十回ゲーム大会に参加して

7-2 中島 久子(道正)

思わぬ結果に只々驚き戸惑いでした。点数を計算することでもできず、いつも皆様のお世話になつてばかりですのに、優勝等は全く思いのほかのことでした。「これは何かの間違い、こんなことあるはずがない」今でもその気持ちは同じです。



同期生でワカバ会理事の中村さんにひっぱられて矢張り同級生の菊本さんと共に麻雀を始めの様に、いつも「新樹」の皆様へ快く迎えて頂

いて早や十年が経ったのかと今更ながら驚いて居ります。これからもまだまだ会員の皆様のお世話になることと思います。御指導の程よろしくお願い致します。

ワカバ会の皆様、是非一度、健康麻雀教室に来て見て下さい。これからの人生にきつともう一つ楽しい時間が増えることと思います。お待ちしております。

- 一位 中島 久子(7-2)
- 二位 野口 喜子(会員友人)
- 三位 村井 康子(13-1)
- ワカバ会賞 兵頭 英子(14-1)
- B・B賞 城代 静(3-3)

(平成十五年六月四日実施)

コーラスのつどいに参加して

15-1 井手 久子(山下)

共にコーラス部に在籍していた同期の桑原洋子さん、坂口ひろ子さん、土屋とよ子さんと一緒に参加しました。御指導して下さいる加藤先生は、私達が三年の時就任され、シェーベルトの「冬の旅」等、難しい曲を達者なピアノの伴奏で教えて下さいました。あれから四十年、お逢い出来る事をとても楽しみにしておりましたし、又「ワカバ会山荘」が閉鎖され、最後になる様なお話で、是非伺わねばと思いましたが、山荘は閉めてしまふのは余りにも勿体無い程、まだまだ綺麗で、お食事もおいしく、今になって良さを認識させられました。



で三田談義に花を咲かせ、時が経つのを忘れる夜を過ごしました。今回限りとは本当に残念です。

(平成十五年七月三十日実施)

第20回

ワカバ会軽井沢ゴルフ

8-2 鈴木 幹也

過去、勤務地や仕事の都合で出場の機会が少なかつたが、この季節、爽涼の高原ゴルフ熱戦の後、山荘での表彰式、懇親夕食会や同期悪友共との夜を徹した二次会等、アフターゴルフの集いがプレー以上に何時も楽しく愉快で、今回は競技優勝のオマケまでついて忘れられない会となった。

今年の競技コースは72東押立、アウト35、イン38。最終18番は715ヤ

ドパー6の異色コース。当初レギュラ
ーティ白で競技予定が、開始直前オレ
ンジティで
との一部実
力過信者の
煽動にY競
技委員長が
年甲斐もな
く乗り、6
380ヤ
ード長丁場
での競技とな
った。シヨ
ットが不安
定で出だし
連続ダブル
ボギーであ
ったが、そ
の後好調なパット(ワンパット8回ス
リーパットゼロ)と2バーディに救わ
れて、グロス86ネット72で二位に一打
の僅差で優勝させて頂いた。



ワカバ会山荘の閉鎖で、今回が軽井
沢ゴルフの最終回と聞き寂しい限りだ
が、二十年の長きに亘り、楽しい会の
運営に多大なご努力貢献された諸先輩
幹事、事務局の皆様は厚く御礼を申し
上げたい。

また、今回過分なご寄付を頂いた第
六回の岡、越村、浅田及び高校4回
の鈴木(典子)、吉澤の各先輩に特に
感謝申し上げます。

(平成十五年九月五日実施)

山荘利用者の声

軽井沢ワカバ山荘を想う

9-ウ 原田智恵子(村野)

私共は十数年続けて利用させて頂き
東京の猛暑を逃れ、から松林に囲まれ
た山荘に安らぎを覚え、心をこめたお
料理は、和洋中とバラエティにとみ、
おいしく盛り沢山で、若い方にも充分
と思われる程でした。夜は夜で、から
松林を透かし見えつ隠れつ渡つて行く
月を眺め乍ら眠りにつき、朝は小鳥の
声で目覚めるという別世界、忘れられ
ない思い出です。東京駅から一時間、
軽井沢には、皆様ご存じの上毛三山を
見渡せる



左端筆者、ブルーベリーの
実を摘んだ折に

峠、茶屋、
おだんご、
古い教会、
湖、白糸
の滝、竜
返し、滝
各種の美
術館等々
車を依頼
し、美し
い緑の林
を走り、

森林浴で清涼な空気と入れ替え東京の
暑さに耐える英気を養って帰京出来る
所でした。この様な山荘は、公立学校
では貴重な存在で、誇りに思っていま
す。長年利用させて頂いた事に感謝し、
再開の時を待ち望んでおります。

軽井沢の思い出

小林 寿美子

(15-2 佐藤典子の母)

山百合のあす開くらし夏館



佐藤典子さんと
お母様の小林寿美子さん(筆者)

地図の通り霧の中を進むと二本のト
ーテムポール又一本のポールに出遭つ
てひたすら山荘へ。雑木林の中にロッ
ジ風の堂々たる閑静な建物に満足。
バイトの若人三人は誠実そのもの、
飾り気のないのが心地よい。

翌日、落葉松林の中を抜け、古きよ
き時代の文士の遺品、芸術家の歌碑の
数々、うれしくなる。森の中に建つ別
荘が趣を一更深める。ホテル等庭園は、

何処も花が咲き誇って素敵な景色。
市街地はさすがに軽井沢、伽の国に迷
い込んだ様にインテリアを擬してある
ゆつたりとした空間はくつろげる。車
を飛ばして、碓氷峠の国境に立つ夏鶯
が左右に啼き交ざっていた。
朝食のパンの美味しかったこと。も
っと見るべき処があったが、又次のた
のしみに。

病葉の山荘の庭やわらかし

只今参加者募集中

〈これからのワカバ会行事〉

〈第1回 シャドーボックス〉

～立体的な絵の作品づくり～

期日：2004年2月24日(火) 13時～

場所：ワカバ会事務局(三田高校6階)

講師：田澤恵子(26-1)

内容：4枚から5枚の絵をカットし重ねて立体的な作品を作ります。はじめての方でも楽しく、短時間で作ることができます。

会費：3,000円(茶菓代・材料費)

申込締切：2004年2月10日(火) 定員15名

※最少催行人数10名といたします。

情報ひろば

◆新刊紹介

●『松本清張の残像』 文春新書290

著者：藤井康栄(大木)(5-3)

発行所：文芸春秋 定価：700円+税

著者は三十年にわたり文芸春秋で担当編集者として松本清張に接し、清張没後は松本清張記念館設立に参画して初代館長を務めています。

本書ではまず、芥川賞受賞以前の小倉での生活を描いた作品『半生の記』に検証の目を向けています。貧乏で「濁った暗い半生」と清張は記していますが、貧しく暗いというには違和感のある郷里小倉での実像の数々を突き止めた著者は、『半生の記』は「自叙伝めいたもの」と理解するのが妥当な判断と記しています。

後半では、現代史専攻の著者が一級資料の入手や取材を担当して東奔西走し、労作、『昭和史発掘』の執筆を支え、清張の力強い伴走者を務めた貴重な体験が詳しく綴られています。

巻末の詳細な「年譜」では、清張の生涯を展望でき、清張の巨人ぶりに驚嘆させられます。

ぜひ一読をおすすめしたい好著です。

大橋京子(5-5)

〔付記〕ワカバ会創立60周年記念誌『わたしたちの昭和史』発刊の際には、藤井さんが編集委員長として敏腕をふるって下さいました。

●『深き淵より』

著者：高橋良子(新井)(17-エ)

発行所：武蔵野書房 定価：2,000円+税

不安な世相の中での安心立命の術がいま人々の関心をよんでいる。しかしそのような思案をするまえに、まず不安の原因を考えてみるのが先ではないか。

先端技術が生活を豊かにする反面、人間を破壊の方角へ導きかねない。文明の暴走をコントロールし、羅針盤に役割を果たすべき哲学、文学の低調さ、モラルの頹廃は目に余るものがある。

いま私達の直面する難問解決への智慧を、私は先賢の著作に求めたが、そのとき、痛感したのは読書の必要と、その大切さであった。私はここで問題提起をしたに過ぎないが、人々がそれをどううけとめていくか、未来に希望をかけている。

◆第32回 加藤恭二子先生 ソプラノリサイタル

日時：2003年11月30日(日)

午後2時30分開演

場所：トッパンホール

文京区水道1-3-3 TEL 03-5840-2200

飯田橋下車13分

全自由席 4,000円

1955年東京芸大音楽科卒。欧米や日本の歌曲、オペラアリア等幅広いレパートリーを持つ。特に日本歌曲においては、毎年数多くの作曲家の作品をとり上げており、「清水修作品の夕べ」では文化庁芸術祭優秀賞を受賞した。

往年の名テノール「カルーソ」の発声法(ベルカント唱法)を、ここ20年学び続けている。

昭和30~40年代、三田高校でも講師として勤務され、数多くの卒業生が指導を受けた。

チケットご希望の方は

三田高校内 戸田雅子(宮崎)(19-1)あてへ

FAX 03-3453-2899

◆三田高校6回生 昭和29年(1954年)

卒業50周年記念連合クラス会

日時：平成16年(2004年)4月16日(金)

12時(正午)開宴

会場：「綱町三井倶楽部」……母校から2分

会費：12,000円 案内状は後日郵送

皆さまのご出席を心よりお待ちしております。

世話人 1組：廣瀬(土田)光代・渡辺久美子

2組：大関隆佑・安井(芹沢)美智子

3組：松野光顕・森(和泉沢)汎美

4組：佐藤俊郎・佐藤(藤井)もと子

5組：飯山精三・木島(砂押)和子

6組：田久保安子・杉浦(大西)規代

7組：山崎泰弘・加藤(木下)淑子

連絡先：飯山精三 045-541-9738

◆三田高校7回生同期会(卒業48周年)

日時：平成15年11月8日(土) 正午より(12時)

場所：マイシティ新宿バンケットルーム

(前回と同じ場所、店名変更のみ)

JR新宿駅東口(新宿マイシティ駅ビル8F)

Tel 03-3352-8421

問い合わせ先

7-3 齋藤 節子(平田)(03-3387-0311)

7-2 中村左都子(本多)(03-3481-0823)

情報ひろばはあなたのひろばです。どしどし情報をお寄せください。

総会報告

第六十六回ワカバ会総会は、五月十八日(日) 正午より一時まで、母校音楽講堂で開催されました。

出席者数は、定足数百名に対して百七十一名の会員、客員の先生方には十九名のご出席をいただきました。

小野会長より三田高校は今年八十周年を迎え、盛大に式典が行われると伺っています。ワカバ会もこれから一層充実したものにし、学校の発展にも力を尽くしたいと想いますと挨拶がありました。

続いて平成十四年度事業報告・決算報告が承認され、平成十五年度事業計画も満場一致で承認されました。

特筆すべき事としては、山荘運営について、今年限りで一時休止して様子を見ることになったが、確定ではないので、将来の見通しがいたら維持運営したい方向であるとの説明がありました。

恒例の懇親会はホームカミングデー二年目、一層出席者も多く、テーブルを増しての賑やかな会になりました。高十九回有志のバンド演奏が今年も華をそえて下さいました。福引で盛り上がるうちに時は瞬く間に過ぎ、定刻に無事終了しました。

うれしいおまけ付きの
ホームカミングデー

5-3 久保 絢子(天日)



私達は四月下旬に同期会を持ったばかりだったから、出席者はさほど多くはないのでは? でもホームカミングデーの該当学年があまり少なくて、役員さん達に済まない——そんな気持ちから急遽出席することになりました。着いてすぐ、とても心温まる光景を目にしました。車椅子の方がいらしたので、懇親会の席上で司会者が「第六高女六回生の方で、介助の男性はご子息」と紹介。期せずして大きな拍手が起こりました。

時間はまたたく間に過ぎ、さて帰りしなに声をかけて下さる方あり。なんと、ドイツ語非常勤講師をしていた亡夫のかつての教え子、Nさんです。

この日、福引ではくじ運の悪い私は二枚ともハズレでしたが、思いがけぬNさんとの再会といううれしいおまけまで付いたのです。

理事会報告

平成十四年六月より

平成十五年五月

第一回(14・6・26 6時半〜8時45分)

維持会費の納入状況、総会の反省、山荘検討小委員会について、わかば52号について

第二回(14・9・30 6時半〜8時)

山荘アンケート・山荘行事・企画行事について

第三回(14・11・25 6時半〜8時)

第一回山荘検討小委員会開催について、わかば52号発行報告

第四回(15・1・22 6時〜7時)

第66回総会について、山荘検討小委員会報告、山荘開荘日程、わかば53号について

第五回(15・3・18 6時半〜8時)

評議員改選について、総会について

第六回(15・4・17 6時半〜9時)

14年度決算、15年度予算について、総会の件、三田高創立80周年記念について、ホームページ進行状況

評議員会(15・5・10 2時より)

評議員数70名(定足数過半数35名)出席数15名・委任状39名 合計54名
平成14年度事業報告ならびに決算報告、平成15年度事業計画、予算案ならびに評議員・監事改選が全員一致で承認された。

◆三田フィルハーモニーオーケストラ

第13回定期演奏会

日時: 2004年6月27日(日)

13:30開場 14:00開演

会場: 大田区民ホールアブリコ

大ホール(入場無料・全席自由)

曲目: メンデルスゾーン作曲

交響曲第3番「スコットランド」ほか

指揮: 遠藤浩史氏

★三田フィル団員募集!!

当団では、一緒に演奏して頂ける団員を大募集しております。高校在学中のクラブ、年齢、経験などは一切問いません。

一緒に演奏できますことを、団員一同、心からお待ちしております。どうぞお気軽にお問い合わせ下さい。

練習場所: 主に港区内・大田区内

練習日程: 月に2回程度(土曜日夜間、

日曜日午後)他に合宿があります。

団費: 年間1万円(他に演奏会負担金あり)

平成14年度 決算 ・ 平成15年度 予算

(自平成14年4月1日 至平成15年3月31日) (自平成15年4月1日 至平成16年3月31日) (単位:円)

科 目	平成14年度予算	平成14年度決算額	平成15年度予算
収入の部			
1 基本財産運用収入			
基本財産利息収入	450,000	150,102	150,000
基本財産配当収入	25,000	6,044	6,000
2 会費・入会金収入			
維持会金収入	1,390,000	1,390,000	1,380,000
事業収入	9,400,000	9,576,000	9,500,000
3 事業収入			
山荘会費収入	5,000,000	3,624,222	5,000,000
総貸付金返還収入	150,000	145,000	150,000
4 寄付金収入	192,000	107,000	80,000
寄附金収入	0	0	0
5 雑収入			
受取利息収入	60,000	21,112	15,000
配当金収入	0	0	0
雑収入	0	58,730	0
6 特定預金取崩収入			
山荘積立金取崩収入	34	34	
7 繰入金収入			
駐車場会計山荘繰入金収入	3,400,000	3,519,580	2,000,000
駐車場会計繰入金収入	2,600,000	2,498,289	2,600,000
当期収入合計 (A)	22,667,034	21,096,113	20,881,000
前期繰越収支差額	64,965,906	64,965,906	65,645,452
収入合計 (B)	87,632,940	86,062,019	86,526,452
支出の部			
1 事業費			
総会費	1,500,000	1,149,673	1,200,000
新山行	2,000,000	5,206,541	6,200,000
80周年記念事業費	190,000	186,382	190,000
2 管理費	8,000,000	7,143,802	7,000,000
給旅通	120,000	85,851	220,000
費			
交通費	4,800,000	4,024,352	4,500,000
消耗品費	100,000	138,020	150,000
印刷費	600,000	676,020	700,000
信刷費	130,000	98,893	120,000
情会交	225,000	248,362	230,000
雑	120,000	54,600	100,000
3 固定資産取得支出	350,000	329,570	350,000
什器備品費	300,000	514,545	400,000
貸付支出	300,000	348,353	400,000
貸付支出	100,000	0	50,000
5 特定預金支出	100,000	154,189	100,000
山荘積立金繰入金	0	0	10,000,000
6 予備費支出			
予備費	488,034		3,000,000
当期支出合計 (C)	22,667,034	20,416,567	85,754,000
当期収支差額 (A)-(C)	0	679,546	-64,873,000
当期繰越収支差額 (B)-(C)	64,965,906	65,645,452	772,452

委員会報告

総務委員会

本年度は五月十八日(日)に第66回総会が無事終了いたしました。昨年にもまして多数の方にご出席を頂き、ホームカミングにご賛同いただけたと手ごたえも感じています。来年は更にくの方々のご出席を願っています。

委員長

竹内 和世(5-4)
瀬戸 武虎(9-2)
鈴木美智子(9-3)
平山 孔嗣(29-2)

企画委員会

当委員会は、昨年に引き続き、会員の皆さまに喜ばれる企画行事を実施していきます。

春にはゲーム大会(健康麻雀——平成15年6月に、満10周年を迎えることができました)、夏には見学会、秋と冬には日帰り旅行や講座などを予定しております。

委員長

中村左都子(7-2)
桐生 郁子(4-1)
戸田 雅子(19-1)

さい。

楽しい会ですので、お気軽に一人で

も、ご友人と一緒に一度はご参加下

事業運営委員会

会報「わかば」53号(本年五月発行)

で告知しました通り、本年一月二十二日の理事会に於いて軽井沢山荘が本年度の開荘をもって一時閉鎖の処置が決定されました。八月初旬の台風、夏期を通じての天候不順等の影響もあり、

残念ながら利用者は昨年をも下回って約五百二十名(八月下旬集計)と振るいませんでした。又、同号でお願いした維持会費の納入も、従来通り四千名程度になると思われ、この方でも山荘存続に対する期待は持てません。

しかしながら、本年四月に三田高校に赴任された揚村洋一郎校長が在校生PTA関係者等による具体的な山荘利用方法に非常に熱心に取組んでくださっており、今後の維持を見守って行く事となりました。

なお、大田区鶴ノ木の駐車場は満車状態が続いております。

委員長 山口謙一郎(8-1)

竹内 和世(5-4)

後藤眞理子(19-7)

パソコン委員会

主に、会員の皆様のご要望などに迅速にこたえられるようにワカバ会事務局内のインフラ整備を充実させるべく努力しています。

具体的には、ホームページ作りなどに対応できるように、事務局内の各種ハードウェアの整備をしたり、ネット

ワークもADSLの高速回線に切り替えました。また、データベースの充実に関しても、毎日、鋭意努力中です。

委員長 平山 孔嗣(29-2)

瀬戸 武虎(9-2)

田中 浩(32-5)

小針 淳(40-3)

会計委員会

会計委員会は、日常の出納、記帳業務の管理及び予算決算を中心に行っております。維持会費のご協力依頼につきましては、恐縮ながら会計委員会が中心になり毎年お願いしておりますが、長期化した低金利の傾向は容易に回復しそうにはなく、ワカバ会務を遂行してゆくために、維持会費は必要不可欠のものとなっております。会員の皆様のご厚情には深く感謝申し上げます。

駐車場経営は順調に推移しておりますが、八十周年記念事業及び三田高校再建に寄与すべくワカバ会としての基盤を固めるためにも、一層の維持会費へのご理解ご協力をお願い申し上げます。会計委員会は、冗費の発生のないよう厳しく監視し、会員の皆様の浄財を有効に活用いたします。なお、次回春号におきましては、維持会費協力者一覧表を発行する予定でございます。

委員長

笠原 俊也(15-4)

茨木 万理(19-1)

平山 孔嗣(29-2)

広報委員会

春の第53号の発行を行いました。それからこの秋号第54号の発行です。並んで、ホームページ版「ワカバ会」の発行と更新にも力を入れています。今後の課題としては、この両者のバ

ランスを取りながら必要な情報を必要とときにお伝えできるようにすることであると考えています。

委員長

田中 浩(32-5)

田村 和子(10-5)

津田 一哉(32-8)

追悼 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。(敬称略)

卒業回・組 逝去年月

今泉 淑子 (松原)	1-D	平成 15. 3
笠原 とく	2-C	15. 6
勝木 千枝 (篠原)	3-A	15. 3
三浦 ヤス (中尾)	3-B	15. 7
一宮 習子 (水野)	3-C	15. 2
鳥居 三四 (浜野)	5-A	15. 5
樋口 澄子 (植田)	5-U	14.11
後藤 千鶴子	5-U	15. 7
浅川 鈴子 (小池)	5-O	13.11
斎藤 春子 (鈴木)	5-O	14.10
金沢 豊 (加藤)	6-A	14. 8
伊東 照子 (林)	6-U	14.10
武井 十三枝 (高見)	6-E	15. 3
岩崎 美栄 (野村)	7-A	14. 8
松崎 梅子 (美野)	7-A	15. 2
三芳 節子 (日野)	7-I	15. 4
半谷 高 (佐藤)	7-U	13. 3
江森 紀久子 (徐)	7-E	15. 1
米山 芳子 (花見)	8-I	15. 3
杉田 愛子 (望月)	8-U	15. 1
菊池 英	9-E	15. 4
永橋 和子 (南里)	10-U	15. 3
杉山 節子 (小竹)	11-U	14. 9

卒業回・組 逝去年月

山本 房子 (熊野)	11-O	14. 7
岩崎 紅子 (池田)	12-A	15. 1
久保 竹子 (竹村)	12-I	15. 3
佐々木 礼子 (海老原)	12-U	15. 6
鳥居 二三子 (徳増)	13-I	14.11
伊豆 キヌ (織田)	15-I	15. 3
小森 千恵子 (高島)	15-E	14.11
海老沢 全子 (新山)	16-E	15. 3
増尾 純美	17-U	15. 1
鈴木 宣江 (峰岸)	18-I	15. 2
田畑 恵美子	19-E	15. 8
河上 信子 (河上)	20-A	15. 8
武田 眞理子 (斎藤)	23-5	15. 6
塚平 静江 (内田)	2-1	14.12
山本 正美 (岡本)	3-7	15. 4
上野 玲子 (神辺)	4-5	15. 4
松崎 喜美子 (小野)	7-1	15. 8
木口 俊夫	7-1	14. 8
羽良 弘	7-1	14. 8
田子 茂乃 (平本)	8-3	15. 2
岩男 千賀子 (長島)	9-5	15. 2
笠舞 敬子	18-1	15. 2

御寄付御礼

- ◆ 第六高女7-イ組の皆様から、26,000円
- ◆ 第六高女13-エ組の皆様から、20,000円
- ◆ 第六高女23-5(故)武田真理子(斎藤)様の御遺族様から、50,000円

- ◆ ワカバ会親睦ゴルフ大会(代表 山口謙一郎 理事)の皆様から、6,821円

—以上の御寄付をいただきました。会の運営のために使わせていただきます。ありがとうございました。

ワカバ会駐車場

(所在地: 大田区鶴の木3-32-10)

お近くにお住まいの方は、ご利用ください。駐車場料金等詳しいことはワカバ会事務局までお問い合わせください。(8月31日現在満車)

事務局だより

- ◆ ワカバ会事務局では、会報の表紙を飾る作品と、秋号に連載する「オセンチ山の思い出」の原稿(四百字程度)を募集いたします。

締切: 平成16年2月末日

宛先: ワカバ会事務局

- ◆ 事務局では、皆様のプライバシーを守るため、同窓会以外からの名簿の申し込みや、問い合わせに関しては、慎重に対応しておりますが、クラス会、同期会の幹事の方には、名簿、宛名プリントアウト(有料)を承りますのでご利用ください。

- ◆ ワカバ会のホームページ(<http://www.wakaba-kai.org/>)をご覧いただきましたでしょうか。皆様のご意見をうかがって、改善していきたいと思っております。同期会・演奏会・出版のお知らせ等々ありましたら、ぜひご連絡ください。事務局では、できるだけ早く、更新するようにしておりますので、ご活用ください。

編集後記

- ◆ この夏の涼しさ(寒さ?)とバランスを取ろうとしたのかどうかはわかりませんが、9月に入り、暑い日が続きました。この「わかば54号」がお手元に届くころには、すっかり秋も深まっていることでしょう。

毎回、第六の大先輩から今年卒業された方々まで、分野や立場こそ異なれ、元気に活躍なさっていることを知り、嬉しい限りです。また、これを皆さんにお伝えすることができて喜ばしく思います。次号もぜひよろしくお願いします。(T)

ワカバ会
オリジナルグッズ

写真のような校章入りオリジナルグッズを販売しております。クラス会や同期会の記念品としていかがですか。

また、有料にて名入れカードの作成、名簿の宛名シールも承っております。



ハンカチ

1枚 350円

3枚セット 1,000円

お申し込みは

電話・FAX・eメール

(ホームページ)にて、事務局までお願いします。



クリアファイル

1枚 50円

ストラップ

1本 300円